

2012年4月26日

東急不動産株式会社
石勝エクステリア株式会社

建設中の首都圏分譲マンション全物件において 建築現場の仮囲いに壁面緑化を実施

東急不動産の住まい「BRANZ（ブランズ）」

～東急不動産グループ 環境ビジョンに基づく環境配慮の取り組み～

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：金指 潔）では、分譲するマンション「BRANZ（ブランズ）」の首都圏で建設中の全物件（※）において、建築現場に設置する仮囲いの壁面をグループ会社である株式会社石勝エクステリア（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：猿井 良昌）の「アースウォール工法（工法特許）」を用いて緑化いたします。初導入は現在販売中の「ブランズ亀有（所在：葛飾区亀有5丁目）」で、今後も継続して分譲マンションの全てにおいて設置してまいります。「アースウォール工法」を用い、全ての建築現場で仮囲いの緑化を行うことは業界初であり、他に行っている事例は現在までありません。

※共同事業による非幹事物件等を除く

東急不動産グループでは昨年に環境ビジョンを制定いたしました。同ビジョンでは、環境メッセージ「都市と自然をつなぐ。ひとと未来をつなぐ。」を掲げ、グループをあげて地球環境保全活動の一層の推進と継続を目指しております。今回の建設中の分譲マンション全てでの仮囲い緑化は、周辺環境への調和と近隣への環境配慮することを目的としたもので、CO₂削減や省資源という環境課題に、事業を通して具体的に新しい価値を創り出す取り組みです。

また、石勝エクステリアは環境創造のリーディングカンパニーとして環境に関するトータルソリューションを提供しております。この緑化された仮囲いは3回程度再利用が可能で、工事完了後も別のマンションの建設工事現場で使用いたします。特殊緑化技術を持つグループ会社の技術により低コスト・省資源で実施が実現いたしました。



完成イメージ

◆ 石勝エクステリアの壁面緑化技術 「アースウォール工法」

石勝エクステリアの壁面緑化「アースウォール工法」(工法特許取得)は、色々な大きさにフレキシブルに活用できることが特徴の一つです。

植栽基盤材には保水性の高い水ゴケを用いており、四季の草花が楽しめる多品種混交植栽が可能です。「ブランズ亀有」の仮囲いでは主にツタ類を使用しますが、季節に応じてその中に花類を混在させ、周辺の方々にも楽しんでいただけるよう工夫してまいります。

初導入となる「ブランズ亀有」においては、環境への配慮、都市空間における潤いある住宅を目指し、仮囲いの緑化だけでなく、エントランス正面の丸柱をはじめとした壁面への緑化を予定しております。(「完成予想図」参照)



エントランスの円柱や壁面などに壁面緑化を施した「ブランズ亀有」完成予想図

《参考》

■「ブランズ亀有」物件概要

● 所 在	東京都葛飾区亀有5丁目64番1(地番)
● 交 通	JR 常磐線「亀有」駅から徒歩4分
● 敷地面積	1,139.80㎡
● 構造規模	鉄筋コンクリート造 地上15階建
● 延床面積	6,349.76㎡
● 総戸数	74戸
● 間取り	3LDK
● 専有面積	66.24㎡ ~ 76.91㎡
● 売 主	東急不動産株式会社
● スケジュール	販売開始 2011年12月(第1期) 着 工 2011年6月20日 竣 工 2013年1月下旬予定 引 渡 2013年3月下旬予定
● 施 工	五洋建設株式会社
● 管理会社	株式会社東急コミュニティー
● 販売会社	東急リバブル株式会社

■ 「ブランズ亀有」ホームページ <http://sumai.tokyu-land.co.jp/branz/kameari/>